



友情や信頼を深め、感謝の気持ちを育てる

校長 敦澤 雅規

2学期が始まり、約1か月が経ちました。最近は朝晩には涼しい風が吹き始めて、ようやく秋の気配を感じます。

さて、猛暑日が続いていた9月8日（月）から10日（水）まで、3年生の修学旅行がありました。奈良・京都はやはりとてもとても暑かったです。東京駅での出発式では、私から3つの願いを伝えました。ここでは、そのうちの2つの願いについて触れたいと思います。1つ目は、「せっかく一つ屋根の下、同じ釜の飯を食べて寝食を共にするのだから、仲間の良いところを1つでも多く見つけて友情を深めてほしい」です。2日目の京都市内1日班行動や3日目の半日タクシー班行動では、はぐれることなく班で仲良く話し合いながら、しっかりと行動できていました。素晴らしいと思います。ある人に感想を聞いてみると、「今まで知らなかった仲間の優しさを感じた」「また一緒に京都に来たい」と言っていた人もいました。2つ目に、「たくさんの人々に支えられて楽しみしていた修学旅行ができるのだから、お世話になる人に感謝の気持ちをもてるようになろう」です。3日間、バスの運転手さんやガイドさん、ボランティアガイドさん、タクシーの運転手さん、宿舎の方々など、数えたらキリがないほどの方々にお世話になりましたが、多くの生徒が大きな声で元気よく挨拶をしている場面をたくさん見ることができました。



さすが三中の3年生だと感じました。ボランティアガイドさんが途中で体調を悪くした際に、班員が介抱してくれたということもあったそうで、その方が宿舎に来て私に対して直々に「助かりました、ありがとうございます。優しい生徒さんたちですね。」と感謝の言葉を述べられていきました。私はとても嬉しい思いになりました。班員のみなさん、感謝のおもてなしをどうもありがとうございます。この3日間は、3年生にとってとても有意義な3日間だったと思います。

これから1年生はスキー移動教室、2年生は校外学習が控えています。また合唱コンクールもあります。この機会を通じて、ぜひ3年生のように仲間の良さを再確認し、さらに友情や信頼を深めていってください。また嬉しい思い、楽しい思いができるのも支えてくれている人があってのこと。自分の周りや相手への感謝の気持ちをさらに育てていってほしいと思います。応援しています。

